

関西スポーツランド

濱名学長エール



阪神大学野球連盟会長

◆濱名 雄（はまな・あつし）
1956年8月2日、兵庫県生まれ。65歳。上智大大学院を経て、87年に関西女学院短大講師に。98年、関西国際大の開学とともに同大学の教授に就任。05年から学長。専門は教育社会学、高等教育論。08年春からは阪神大学野球連盟の会長も務めています。

▲ 巨人の1位指名を受けた翁田に熱いエールを送った関西国際大・濱名学長

けん引役

濱名学長「ウォーミングアップ学習」

育成総合研究所

(おうた大勢投手)を輩出した関西国際大は、スポーツについて独自の取り組みを行ってきた。そこには濱名はみな篤学長(56)の考えが深く根付いている。高校時代、無名だった右腕はどのような環境の下で「巨人期待の星」に成長したのか、その環境を整えた濱名学長が、その秘密について語っています。(企画協力 株式会社グローバル人材育成総合研究所)

関西国際大での学び生かせ

リックスで球団代表を務め、当時学長補佐だった井筒重慶氏(86)の推薦だった。P.L.学園駒大・神戸製鋼と名門で育った指揮官は、情熱のかたまりだった。

「パワ」というか、心力もあって、学生といいう、入学前プログラムでアスリートを自指す学生には「文武両道」のことを話します。長い人生のひとつつのステップとして大事なスポーツがあると思うので、卒業できない

「翁田が非常に(語が)うまくなっていませんでした。アクトタイプラーニングやケループワークの成果が出てきてくれているとしたらうれしいのですが、今の若者の多くが自分ですね。熱い情熱、上から目線ではなく、伝えるエネルギーを持っている魅力あふれる人間です」

11月14日の学園祭では、参議院議員で同大学の客員教授を務める橋本聖子氏(57)と翁田の対談が行われた。濱名学長のコーディネートだ。

「翁田が非常に(語が)うまくなっていませんでした。アクトタイプラーニングやケループワークの成果が出てきてくれているとしたらうれしいのですが、今の若者の多くが自分ですね。熱い情熱、上から目線ではなく、伝えるエネルギーを持っている魅力あふれる人間です」

昨年、同大学は文部科学省のスポーツ庁委託事業に採択された。これは濱名学長の発案で応募したものだった。スポーツのクラブに所属する学生が通う三木キャンパスに

「オリンピックの環境」というスタンスだ。

張りのルールを規定。連盟のために動け

る人材登用に尽力した。そして今後を見据え、一般社団法人化を目指す。すべては大学

の成長につながっていくだろう

「自分たちの関心のあるスポーツの世界

でもう地域振興とつなげられるか、という

のは非常に生きた素材。自分の提案が地域

の中で実現していく、という形の達成感

だと思います」

硬式野球部が加盟する阪神大学野球連盟

では08年から会長を務める入学前のオリ

エンティーションを改革し、就職活動のオリ

エンティーションも始めた。また、現場の責任者である理事長選出についても、「選手だけではなく、OB」という慣例を打ち破って、「ガラス

の可能性といふべきだ。

「仲間語では語られるけど『他人語』で

か、その場面で多少頭を打つことを経験し

たのですね。それが今の若者の多くが自分

語れるか? 仲間ではない人にもどう伝える

か? 仲間語では語られるけど『他人語』で

か、その場面で多少頭を打つことを経験し

たのですね。それが今の若者の多くが自分